

# 37. 香 川 県



## 37 香川県

## A. 医療提供体制の現状

香川県は日本で最も面積の小さい県であり、瀬戸内の離島を除けば、県内のアクセスは非常に良い。香川県の特徴は、(1) 豊富な医療資源、多い一般病床、全国平均の療養病床、回復期病床、(2) 高松への弱い集中、地方としては充実した中讃、である。

## (1) 豊富な医療資源、多い一般病床、全国平均の療養病床、回復期病床

全県を通しての偏差値が病床数(58)、一般病床が(60)、病院勤務医(56)、全身麻酔数(52)、看護師(58)と、豊富な医療資源に恵まれている。一般病床が多く、療養病床、回復期病床が全国平均レベルであることも香川の特徴の一つである。

## (2) 高松への弱い集中、地方としては充実した中讃

医学部のある高松市に45%の人口が集中するが、病院勤務医56%、全身麻酔57%、看護師48%の集中であり、強い集中傾向とはいえない。一方中讃は、人口の30%が集中しているが、病院勤務医の27%、全身麻酔34%であり、医学部も無く、県庁所在地でもない地域としては、充実した地域と言える。

東部と離島は高松への依存度が高く、西部の三豊医療圏は中讃への依存度が高い。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## (大川)

大川は、高松市と徳島県境の間に広がる農村地帯の医療圏であり、さぬき市民病院を中心に医療が提供されている。この地域の偏差値は、病床数が(49)、一般病床数が(43)、病院勤務医が(41)、全身麻酔数(36)、総看護師数(42)であり、医療資源レベルは低い、高松へのアクセスが良く、高松への医療依存度が高い。2010→35年の医療の総需要が8%減、0-64歳が39%減、75歳以上が26%増であり、地域内の医療施設の強化や高松とのネットワークの強化することにより医療機能を維持することが求められる。

## (小豆)

瀬戸内海に浮かぶ小豆島には、4つの病院があり、うち2つが一般病床を有する。この地域の偏差値は、病床数が(62)、一般病床数が(51)、病院勤務医が(47)、全身麻酔数(32)、総看護師数(53)であり、人口当たりの医療資源レベルは低くはないが、高度な医療は高松に依存している。2010→35年の医療の総需要が18%減、0-64歳が52%減、75歳以上が6%増であり、現在の医療提供体制の維持が難しくなることが予想され、地域内の集

約とヘリコプターの活用も含めた高松とのネットワークの強化することにより医療機能を維持することが求められる。

### (高松)

香川大学のある高松の偏差値は、病床数が（57）、一般病床数が（66）、病院勤務医が（63）、全身麻酔数（57）、総看護師数（60）であり、高い医療資源レベルであり、小豆や大川からも多くの患者が集まってくる。2010→35年の医療の総需要が6%増、0-64歳が28%減、75歳以上が53%増であり、将来に向けて、一般病床の療養、亜急性期、回復期への転換、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

### (中讃)

丸亀と坂出を中心とする中讃の偏差値は、病床数が（60）、一般病床数が（59）、病院勤務医が（54）、全身麻酔数（55）、総看護師数（62）であり、医学部も無く、県庁所在地でもない地域としては、極めて充実した医療が提供され、三豊地域より受診する患者も多い。2010→35年の医療の総需要が0%、0-64歳が29%減、75歳以上が35%増であり、将来に向けて、一般病床の一部を、療養、亜急性期、回復期への転換、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

### (三豊)

三豊の偏差値は、病床数が（59）、一般病床数が（57）、病院勤務医が（50）、全身麻酔数（43）、総看護師数（55）であり、地方都市としては充実した医療が提供されている。2010→35年の医療の総需要が7%減、0-64歳が35%減、75歳以上が19%増であり、将来に向けて、一般病床の一部の療養、亜急性期、回復期への転換が求められる。

表 37-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
香川県	995,842	40位	1,877	47位	530.7		25%	-19%	37%
大川	86,625	9%	312	17%	277.4	地方都市型	31%	-27%	26%
小豆	31,275	3%	170	9%	183.9	過疎型	35%	-37%	6%
高松	451,218	45%	465	25%	970.1	地方都市型	23%	-16%	53%
中讃	295,522	30%	589	31%	501.7	地方都市型	26%	-18%	35%
三豊	131,202	13%	340	18%	385.7	地方都市型	29%	-24%	19%

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表37-1、表37-2、表37-5、図37-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図37-5)

図 37-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）

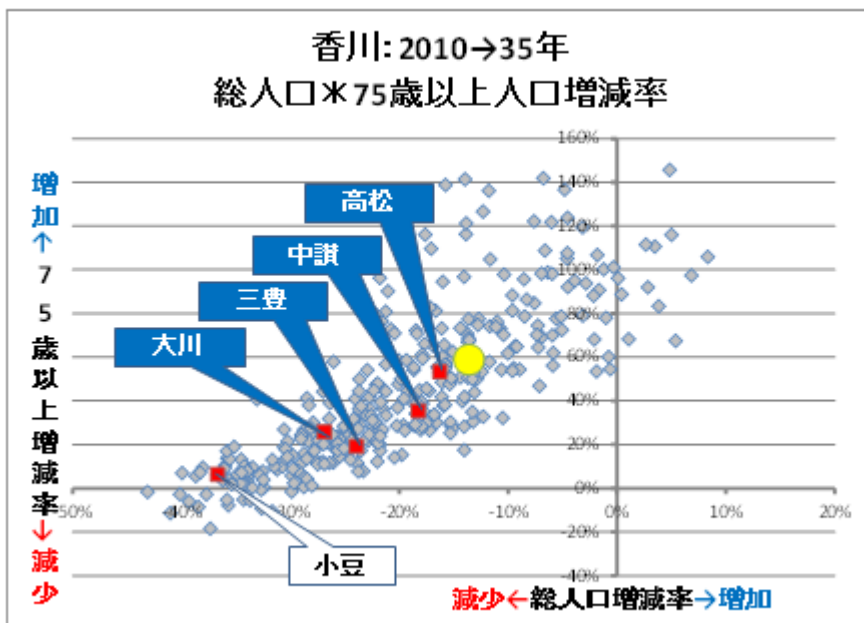


表 37-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
香川県	16,928	1.0%	1,700	58	9,652	1.1%	969	60	14,206	1.1%	106	55
大川	1,096	6%	1,265	49	472	5%	545	43	1,540	11%	107	56
小豆	603	4%	1,928	62	234	2%	748	51	580	4%	90	47
高松	7,491	44%	1,660	57	5,018	52%	1,112	66	5,798	41%	113	58
中讃	5,407	32%	1,830	60	2,775	29%	939	59	4,588	32%	112	58
三豊	2,331	14%	1,777	59	1,153	12%	879	57	1,700	12%	79	42

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 37-2 病床数（人口10万当たり）、総高齢者ベッド数（75歳以上1,000人当たり）

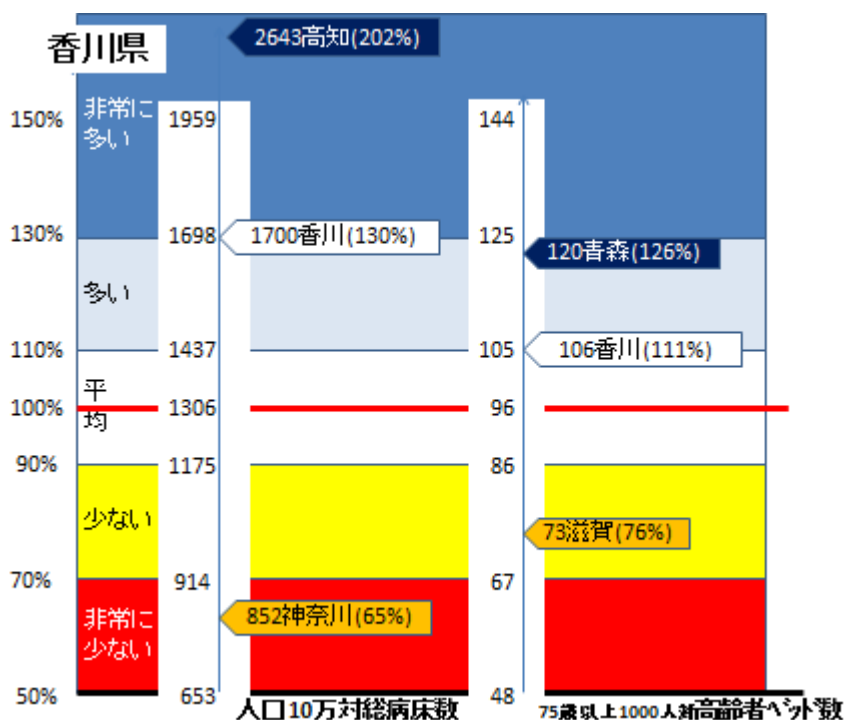


表 37-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
香川県	2,689	0.8%	270	50	438	0.7%	44	49	3,946	1.1%	396	56
大川	372	14%	429	58		0%	0	39	248	6%	286	51
小豆	171	6%	547	64		0%	0	39	184	5%	588	65
高松	595	22%	132	44	224	51%	50	50	1,473	37%	326	53
中讃	882	33%	298	52	46	11%	16	43	1,704	43%	577	64
三豊	669	25%	510	62	168	38%	128	68	337	9%	257	49

表 37-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
香川県	2	1.0%	2.0	52	5	1.3%	5.0	56	902	1.0%	91	56
大川	0	0%	0	43	0	0%	0	42	62	7%	72	51
小豆	0	0%	0	43	0	0%	0	42	18	2%	58	47
高松	2	100%	4.4	62	3	60%	6.6	60	399	44%	88	55
中讃	0	0%	0	43	1	20%	3.4	51	237	26%	80	53
三豊	0	0%	0	43	1	20%	7.6	63	185	21%	141	69

表 37-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
香川県	1,540	1.0%	155	56	8,375	1.0%	841	58	15,388	0.9%	1,545	52
大川	63	4%	73	41	413	5%	477	42	246	2%	284	36
小豆	33	2%	106	47	230	3%	736	53	0	0%	0	32
高松	864	56%	191	63	3,993	48%	885	60	8,744	57%	1,938	57
中讃	421	27%	142	54	2,716	32%	919	62	5,256	34%	1,779	55
三豊	159	10%	121	50	1,023	12%	780	55	1,142	7%	870	43

図 37-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

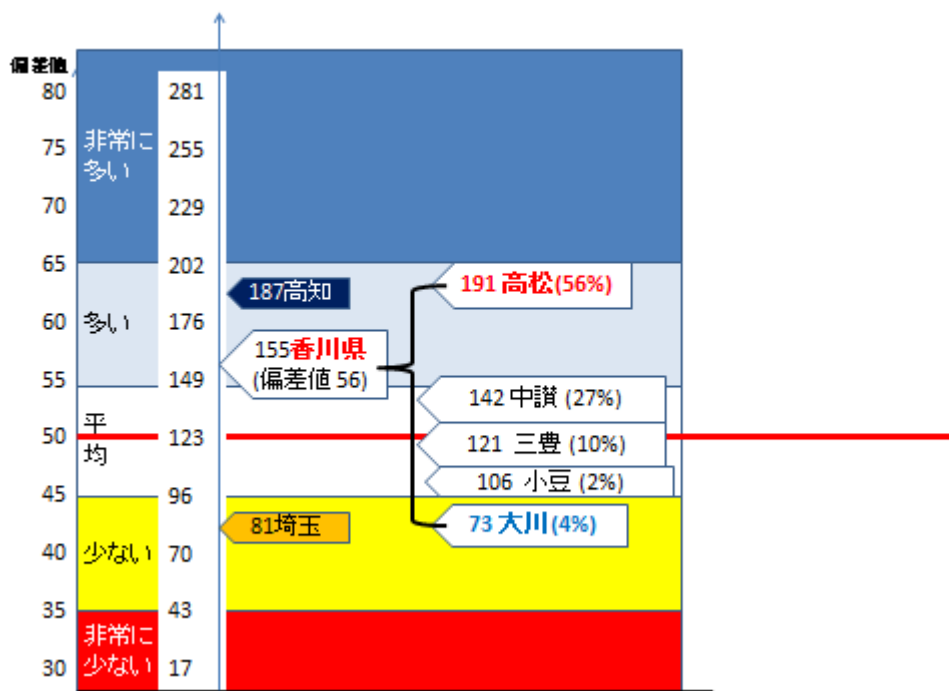


図 37-4 医療圏別基幹病院別全身麻醉手術数

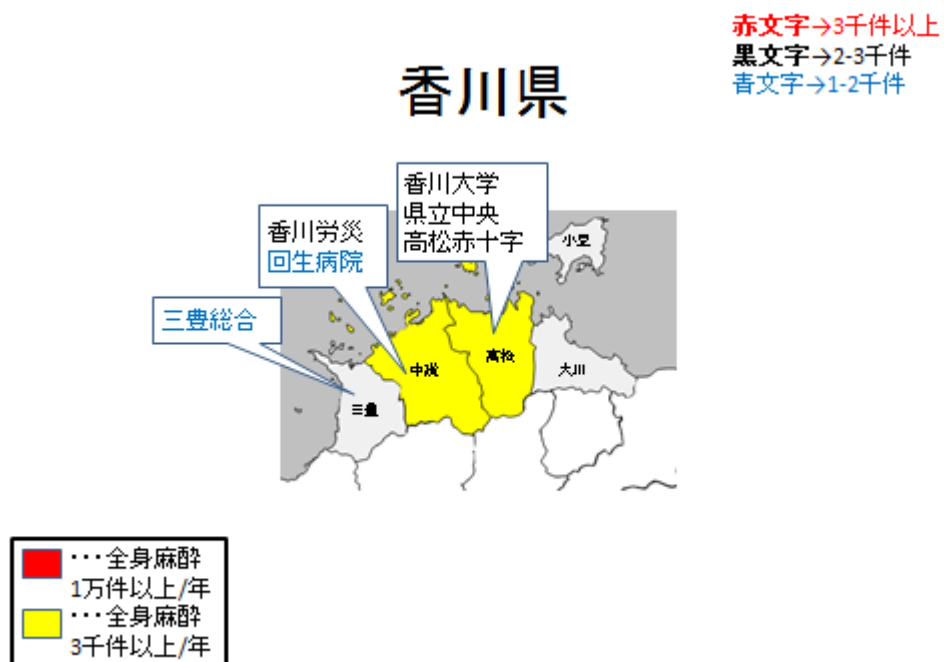


図 37-5 二次医療圏（流入出）

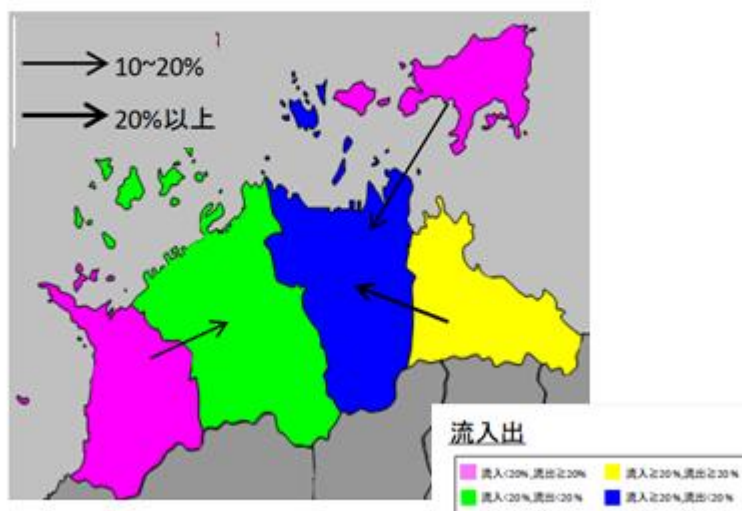


表 37-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
香川県	7,591	1.1%	56	56	3,398	1.1%	25	56	4,193	1.1%	31	53
大川	875	12%	61	59	440	13%	31	66	435	10%	30	52
小豆	370	5%	58	57	140	4%	22	50	230	5%	36	58
高松	2,666	35%	52	52	1,139	34%	22	50	1,527	36%	30	52
中讃	2,438	32%	60	58	1,102	32%	27	59	1,336	32%	33	55
三豊	1,242	16%	58	57	577	17%	27	59	665	16%	31	53

表 37-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
香川県	6,615	1.0%	49	52	2,160	0.9%	16.1	49	1,503	1.0%	11.2	50
大川	665	10%	46	50	242	11%	16.9	50	113	8%	7.9	44
小豆	210	3%	33	43	0	0%	0.0	35	36	2%	5.6	41
高松	3,132	47%	61	59	1,308	61%	25.5	58	826	55%	16.1	58
中讃	2,150	33%	53	54	540	25%	13.2	47	375	25%	9.2	47
三豊	458	7%	21	37	70	3%	3.3	38	153	10%	7.1	43

表 37-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
香川県		0%	-31%	-13%	-24%	37%	31%
大川	2	-8%	-39%	-29%	-35%	26%	20%
小豆	3	-18%	-52%	-30%	-42%	6%	3%
高松	2	6%	-28%	-3%	-20%	53%	45%
中讃	2	0%	-29%	-15%	-24%	35%	29%
三豊	2	-7%	-35%	-20%	-29%	19%	15%



図 37-6 香川県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

